

掲載日：2009年11月2日

丹沢ボラネット瓦版 2009年8・9月号 No.70

ヤマビルシンポジウムを実施しました

丹沢ボラネットの主催する初めてのシンポジウムが開催されました。



主目的は、県の行ったヤマビル調査の報告を聞くことにありましたが、テーマのように、ヤマビルと山歩きに係わるあたりに焦点を絞って講演と質疑がなされました。プログラムは、岩見光一（県自然環境保全センター研究部長）氏の基調講演と、大用ユキ子（県勤労者山岳連盟）氏、平野秀樹（北丹沢山岳センター）氏の事例報告です。

岩見氏の基調講演では、今回の調査で、あらたな知見がいくつも明らかになったことや、これからどうしていけばよいか、という課題や対応策もみえてきたことが説明され、ヤマビル問題の本質がどのあたりにあるのかについてもよく理解できました。事例報告では、大用氏が東丹沢、平野氏が北丹沢のヒル被害の現状について話され、今、ヤマビルがどんどん広がっていることをあらためて認識し直しました。

丹沢での新たな知見として説明された事項のいくつか

- ヤマビルが血を吸って卵をうむのは確かだが、ある程度の成体にならないと卵は生まない。しかも4,5回吸血したうえで産卵する。
- 寿命（平均生存年数）は1から2年。
- 活動期は3月から11月、1日の最低温度が10度以上、湿度が60%以上になると動き出す。
- 気温が20度以上の雨か雨上がりの天候時が最も活発に活動する。
- 6月、7月と9月、10月には子ビルが多く見られ、吸血被害も増加している。
- 12月から3月には落ち葉や石の下など湿度の得られるところに潜んで越冬する。
- その生態を気温からみると、高温41℃、低温-5度で死亡する。なにしろ、高温には弱い。
- 一日の活動は朝夕が活発で11時から15時にかけては不活発な時間帯のようだ。
- その生息場所については、獣道周辺に多く生息しており、特に獣道1メートル以内に多い。
- また、天敵の生物がいることもわかっており、丹沢全体の生き物のバランスが保てるような状態になれば天敵も機能するのではないかと説明がありました。

防除・駆除方法などについても話されました。

午後は樋田一彦氏らかながわフィールドスタッフクラブのメンバーによる見学会を実施。登山者にとっても、大変役に立つお話を伺うことが出来ました。

報告・連絡事項

丹沢大山自然再生委員会 2009-1回 報告

（開催日時： 7月17日10時から12時15分 横浜・ワークピア会議室）

平成20年度事業報告・収支決算報告がなされ承認。

平成21年度役員選任、事業計画・予算が説明され承認。

木平委員長から再生委員会の進むべき方向として次の3課題が説明された。

- 1) 丹沢再生の計画・評価の実施、2) 丹沢の現状を県民に知ってもらふ普及啓発事業の実施、3) 各委員所属の団体の活動支援

サントリービジネスエキスパート社から丹沢にも「天然水の森」を設けたいとの提案があり、基本的には承認。

東丹沢トレイルレースについて、神奈川県山岳連盟から事情説明、議論する時間はなかったが、委員長から、トレイル実行委員会と県窓口（県自然環境保全センター）とでその内容についてさらに検討してもらうことになった。

丹沢環境学習教材として、CD-ROMが配布され、今後の教育の資料としての活用が要請された。

（奥津記）

世話人会 2009-2回 報告

（開催日時： 9月3日18時30分から20時 海老名・市民活動サポートセンター会議室）

1. かながわ森林基金の見直しについて 県森林課稲本水源担当課長らから説明あり、その後意見交換。

2. 報告事項

1) ボラネット報告、2) 助成事業 経過報告、3) 親子探検隊 結果報告、4) ヤマビルシンポジウム 結果報告、5) モミの木へのネット巻き 募集状況、6) 丹沢再生委員会から 委員会報告 など。

行事案内

「神の川流域広河原・シカ柵設置及び植林活動」ボランティア参加者募集

NPO法人北丹沢山岳センターでは、過去5年間継続してきた植栽地でのシカ柵設置作業及び枯れた苗木の植え替え作業を実施します。参加希望者は、北丹沢山岳センターまで。

<開催日時> 11月29日(日曜日) 8時集合 16時解散

<集合場所> 神ノ川ヒュッテ(相模原市津久井町青根)

丹沢自然学校主催ツアーのご案内

今年度、ボラネットに仲間入りしたNPO法人丹沢自然学校は、主に西丹沢地域でエコツアーや自然環境学習を実施しています。今年度主催するツアーのチラシができましたので、別に送付させていただきました。詳しくは[丹沢自然学校のホームページ](#)まで。

「野生キノコ特別相談」実施します

自然環境保全センターでは、野生キノコによる中毒防止とキノコの正しい知識の普及を図るため、「野生キノコ特別相談」を開催しています。野生にあるキノコの名前、食用か毒キノコか？の判別など、気軽にお尋ねください。なお、電話でのきのこ相談はお受けできません。また、次の実施日以外は相談員不在のため対応できません。

<実施日>

9月18日(金曜日)24日(木曜日)、28日(月曜日)

10月1日(木曜日)、5日(月曜日)、8日(木曜日)、13日(火曜日)、16日(金曜日)、19日(月曜日)、22日(木曜日)、26日(月曜日)、29日(木曜日)

11月2日(月曜日)、5日(木曜日)

<会場> 自然環境保全センター 別館1階 休憩室

<実施時間> 9時30分から16時(12時から13時は昼食休憩のため除く)

自然環境保全センター企画展 「野外施設でスケッチしよう展 '09」

自然環境保全センター周辺の里山の風景から、丹沢の森までを描いた作品約20点を展示しています。描き方のコツを説明するコーナーもあります。スケッチブックとペンをもって、ぜひ一度おこしください。

<開催期間> 平成21年8月1日(土曜日)から10月31日(土曜日)まで

<会場> 自然環境保全センター 本館2階展示ギャラリー

第2回自然保護講座

自然環境保全センターでは丹沢の自然再生の課題でもある外来生物について理解を深めていただくため、次のとおり自然保護講座を開催します。

<テーマ> 「最近の帰化植物事情」

<日時> 11月22日（日曜日）13時30分から15時30分

<場所> 自然環境保全センター 本館レクチャールーム

<講師> 生命の星・地球博物館 勝山輝男 氏

<内容> 急増する帰化植物、新しい帰化植物など帰化植物に関する最近の情報や特定外来種について講義します。

<申込> 11月11日までに往復はがきに、行事名、郵便番号、住所、氏名、電話番号を明記し、自然環境保全センター自然保護課までお申し込みください。（締切日必着）

自然環境保全センターホームページからボラネット瓦版を公開しています

ボラネット瓦版が[保全センターのホームページ](#)から公開されておりますので、一度ご覧下さい。

お問合せ・連絡先（協働編集事務局）

神奈川県自然環境保全センター 自然保護課 大木伸一

〒243-0121 厚木市七沢657 電話：046 - 248-6682 ファックス：046-248-0737

問い合わせフォームURL：<http://www.pref.kanagawa.jp/sosiki/kannou/1644/index.html>

丹沢ボラネット瓦版8・9月号

2009年9月20日発行

丹沢大山ボランティアネットワーク（世話人代表 奥津昌哉）

神奈川県

このページの所管所属は [自然環境保全センター](#) です。